

愛知県トラック協会

中部トラック総合研修センター・ グランドオープン

全国のトラック研修センターのお手本に 安全性向上・健康増進・災害対応・生産性向上の4テーマ

愛知県トラック協会(小幡銀伸会長)が二年余りの歳月をかけてリニューアルを進めてきた中部トラック総合研修センターは、施設補完整備事業が完了、グランドオープンしたことから11月1日、星野良三全日本トラック協会会長、大村秀章愛知県知事、田端浩国土交通省国土交通審議官など多数の来賓を招いて、施設完成記念式典を行った。

■「天・地・人」の教えを大切に 運営に取り組む

中部トラック総合研修センターは、愛ト協が運営する施設として、平成3年4月に開設されているが、新しい時代に適合した研修内容にすることを目的にリニューアルすることになり26年に着工、27年8月には宿舍棟のシングルルーム26室や適正診断室、運転シュミレーターなどの施設が整う管理研修棟が完成、更に今年3月には運転練習コース、実技研修棟、全天候型フォークリフトコースも完成、運用を開始していた。今回は、今年3月に着工した屋内実技練習場と第1駐車場が完成、グランドオープンとなったもの。

完成記念式典の冒頭、小幡銀伸愛ト協会長は、今後の研修センターの役割などについて凡そ次のように述べた。

※ ※ ※ ※ ※

本日はお忙しい中、大勢の皆様にご出席賜り心からお礼申し上げます。

この中部トラック総合研修センターは、私より5代前の前田源吾さんという素晴らしい会長さんの提唱で作られたもので、我が国トラック輸送の安全と環境、それに人材育成などで20数年にわた

り大きな役割を果たして来た施設であります。しかし、施設の老朽化が進む一方で、時代の要請に応えるには狭くなったこともあり、約2年余りをかけて全面リニューアルに踏み切ったものです。

私は物事に取り組む際に「天・地・人」の言葉を大切にしております。この研修センターに於きましても同じであります。即ち「天」と申しますのは、前田源吾元会長が全国に先駆けてこのように立派な施設の必要性を提唱されたから今日があるのでありまして、けっして現代の我々だけで出来ているものではないという事です。

それから、我々トラック事業者は軽油引取税の払い戻しとして、交付金を国から受け取っていますが、この交付金は全国でも愛知県が一番山頂



広大な中部トラック総合研修センター(上空写真)



「天・地・人」を引用して挨拶する小幡銀伸愛知県トラック協会会長

いています。これは、どういう事かと申しますと、愛知県が産業でも全国一番で、それだけトラックが活躍しているという事でもあります。もちろん、我々も頑張っていますが、こういう事は永い歴史の上に成り立っているという事で、この点を強く自覚しなくてはなりません。

次の「地」でありますけれども、愛知県は日本列島のド真ん中に位置しております。この研修センターも高速のインターから5分の位置にあります。その他の面でも、この研修センターは極めて恵まれた場所にあります。これは地の利という事で御座います。

そして「人」ですが、これはいわゆる人(ひと)であります。実は、ここが一番大切なところあります。愛知県トラック協会は、現在会員が2250社、約8万5000人のトラックドライバーがおります。管理者も含めると約10万人が愛知県トラック協会の関係者であります。この全ての皆さんが「天」と「地」をよく踏まえて頑張って頂く、ここが

一番大切な点であります。本日までご出席頂いております皆様は、それぞれ立派な方ばかりでございます。是非皆様のご支援を頂いて頑張っていきたく願う次第で御座います。

■安全性向上・健康増進・災害対応・ 生産性向上

では、この研修センターでどういう事をやるのか、その点について少しお話をさせていただきます。

前田元会長がこの研修センターの必要性を提唱されました第一の目的は『安全』であります。この安全につきましては、我々もこの20数年間あらゆる方法で取り組んで参りまして、その成果もあげております。その事を踏まえまして、この研修センターが今後どのような役割を果たしていくか、という事ですが、大きく分けますと次の4点であります。

まずは「安全」です。これは今更申し上げるまでもなく、我々事業者の絶対的な使命であります。この安全性を更に向上させていく事が第一であります。



愛ト協が考案した「ドライバー体操」を披露

次が「健康」であります。我々は長生きするだけではなくて「健康」で長生きする。この点が大事であります。この「健康」につきましては、これまで取り組んでいないテーマであります。安全を確保する為には、先ずこの業界で働く人が「健康」でなくてはなりません。健康でなければ安全な仕事は出来ません。

この「健康」につきましては、中京大学さんにもご協力願って、70歳になっても健康で働けるようにする為にはどうすれば良いのか、皆さんと議論を重ねながら取り組んでいきたいと考えております。

その次が、災害への対応であります。これまでも我々トラック事業者は全日本トラック協会が中心になって災害発生時には、いち早く緊急物資の輸送を行って参りましたが、この研修センターは、その緊急物資集積拠点として活動できるように、新たに全天候型の施設をつくりました。

この施設は普段はフォークリフトなどの技能向上であったり、運動を通して健康増進などに活用するものです。この施設も、先日緊急物資集積センターとして活用することで、愛知県と提携させて頂きました。

4つ目は生産性の向上です。これは、トラックの積載効率をいかに良くするか、荷役の為の待ち時間をいかにしてなくするか、これは我々だけで出来ることではありません。やはり、荷主さんの協力なくしては出来ませんので、荷主の皆様と力を合わせて、この研修センターの役割のひとつとして取り組んで参りたいと思っております。

以上、申し上げました4点、どのひとつを取りましても大変大きなテーマであります。皆様のご支援を頂いて全国のモデルになるような研修センターにしたいと考えております。

本日は誠に有り難う御座いました。

※ ※ ※ ※ ※

式典では多くの関係者から祝辞が述べられたが、何れも小幡銀伸愛ト協会長のリーダーシップを称えるものとなった。

また、記念式典の後のパーティでは、愛ト協が独自に考案した「ドライバー体操」が披露された。この体操は、小幡会長が提唱している「健康増進」にも繋がるもので、出席者全員が軽快なリズムに乗って身体を動かし、朗らかなムードで盛り上がった。

(秋林路)



大勢で一度に利用できる CRT 適正検査室



実際と同じ運転を体感できる運転シミュレーション室



和室での研修もできる



宿泊棟エリアは全部で26室



全天候型のフォークリフトコースと倉庫・研修室。奥は管理研修棟